

サンゴ礁保全

のためのパートナーシップ

～「国際サンゴ礁年」に向けて

プログラム ※日・英同時
通訳付き

1. 主催者挨拶

2. 特別講演

「サンゴ礁の美しさ・大切さ」

(田中律子 女優/NPOアクアプラネット会長)

3. 事例報告

- ① 世界のサンゴ礁の現状と危機
(地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク)
- ② サンゴ礁の多様な価値
(国連環境計画・世界自然保護モニタリングセンター)
- ③ サンゴ礁の環境教育
(立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 教授 阿部治)
- ④ 石垣島・白保における地域主体のサンゴ礁保全
(WWFサンゴ礁保護研究センター リーダー 上村真仁)

4. パネルディスカッション

「多様な主体の連携によるサンゴ礁保全」

- ① 沖縄・石西礁湖の自然再生
(環境省沖縄奄美地区自然保護事務所 所長 中島慶二)
- ② グレートバリアリーフのサンゴ礁管理
(オーストラリア・グレートバリアリーフ海中公園局)
- ③ アメリカ・サンゴ礁タスクフォースの活動
(アメリカ海洋大気圏局)
- ④ 小島嶼国の協力によるミクロネシアチャレンジ
(パラオ国際サンゴ礁センター)

コーディネーター: 名執芳博 (国連大学高等研究所)

入場無料!

特別講演

「サンゴ礁の美しさ・大切さ」

田中 律子氏

●プロフィール

1971年東京生まれ。1984年にモデルとしてデビュー後、さまざまなドラマ・バラエティ・映画・CMに出演。1997年に結婚。一児の母でもある。スクーバダイビングインストラクターの資格を持っており、サンゴ礁の保全・再生を目的としたNPO「アクアプラネット」の会長も務める。



開催日時

平成19年4月22日(日)
14:00~18:00

会場

立教大学池袋キャンパス 11号館 AB01教室

同時開催

「Eco-Exhibition」ポスター展示 於：立教大学11号館1階 ロビー

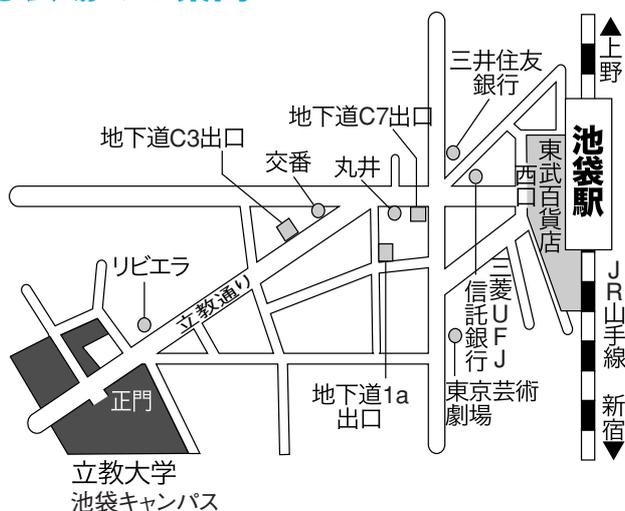
開催趣旨

サンゴ礁は、海の熱帯林と呼ばれ、多様な生物を育むとともに、水産業や観光業への寄与、津波や台風に対する防災機能など、人間にとって様々な恵みを与えています。しかしながら、沿岸域の開発、高水温の影響による白化現象、オニヒトデの大発生、不適切な漁業等の影響により、世界のサンゴ礁は危機的な状況にあります。

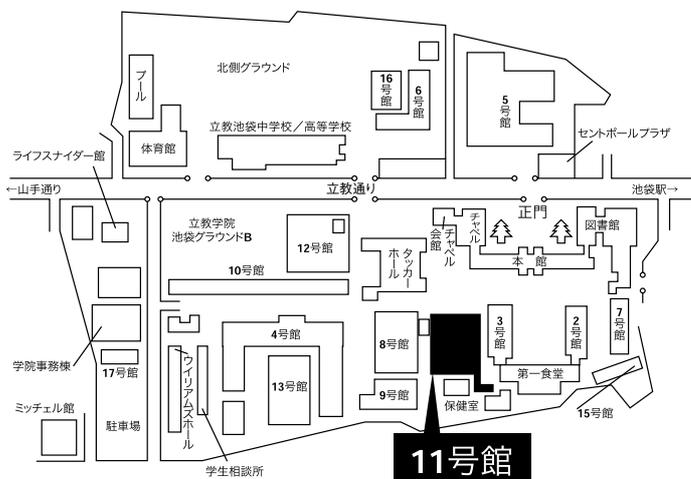
サンゴ礁保全を目的とした国際的な協力の枠組である国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)(日本とパラオ共和国が、平成17年7月から平成19年6月までの任期で議長国を担当)では、大勢の人にサンゴ礁についての理解を深めてもらうこと、多様な主体(企業、NGO、行政、研究者、市民等)が連携してサンゴ礁保全活動を推進することを目的として、2008年(平成20年)を「国際サンゴ礁年」に指定しました。

環境省では、国際サンゴ礁年に向けて、サンゴ礁に関する行事を展開しており、その一環として、立教大学の協力を得て、サンゴ礁の価値や現状について紹介し、多様な主体が連携したサンゴ礁保全について議論をするため、ICRIの総会(4月23日、24日)の開会式を兼ねた公開シンポジウムを開催します。

会場のご案内



〈立教大学池袋キャンパス〉



参加お申込み・お問い合わせ

- E-MailまたはFAXでご応募ください【お申し込みは3月1日(木)から受付開始】。
- ご応募の際は、①住所、②氏名、③職業、④電話番号を明記の上、下記までお送りください。追って参加票をお送りします。定員(400名)となり次第締切とします。

■お申し込み先 / 「サンゴ礁シンポジウム事務局」(立教大学内)

E-Mail: sango@grp.rikkyo.ne.jp

FAX: 03-3985-2458

※お問い合わせは ☎03-3985-4674までお願いいたします。(平日9:00~17:00)

※個人情報、関連以外の目的には一切使用いたしません。